

2011年11月号

みんな好きやねん フェアプレー

スポーツ きみが主人公！

スポーツは平和とともに！

スポーツおおさか

発行者：新日本スポーツ連盟大阪府連盟

〒540-0003 大阪市中央区森ノ宮中央 1-16-15

三双ビル 2 階

TEL 06-6942-4751 FAX 06-6942-4753

ホームページアドレス <http://www.osaka-sports.net>

メールアドレス office@osaka-sports.net

東日本大震災支援ボランティア報告

↓高台から見た大船渡市



10月7日（金）～11日（火）

石垣 康夫（北大阪スキークラブ）

今回岩手県大船渡、陸前高田へ震災支援ボランティアに行ってきました。（発案は、夏休みボランティアに行った澤村さんです）

参加者は、北大阪スキークラブ、澤村、辻、松本、浜田、石垣の5名です。

7日（金）藤井クラブ員から借りたキャラバンで「お好み焼き」と「豚汁」の道具の借入、材料仕入れを辻、松本、石垣で午後1時から行い、4

時に浜田と合流し、5時澤村宅に着き、午後6時、名神茨木インターから出発しました。

15時間約1,000kmの長旅

北陸道～新潟～磐越道～郡山～東北道～一関インターを下り、一般道と走り、大船渡に到着。午前9時。15時間約1,000kmの長旅です（いや～遠かったなあ～）

8日は、お好み焼きと豚汁の材料、現地調達分の買い出しと準備（100食～200食）9日は、9時～出動し（綾里中学校）仮設住宅（90世帯270人）の集会所を借り、調理開始。11時提供開始前から、行列が出来、整理券を発行する盛況ぶり。

大阪のお好み焼きや！！ →

大阪のお好み焼きが大好評でした。具がいっぱい入った豚汁も大好評で午後3時頃まで休憩なしで頑張りました。

10日は、朝から全国から送られてきた救援物資を積んで、3ヶ所の高台にある仮設住宅で、無料青空市を開催し、日用雑貨、子供から高齢





者の衣服、お米、果物等々、皆さんに手渡し喜んでもらえました。

←青空市

翌11日（火）朝から大船渡振興協会で、高速道無料申請を行い、9時過ぎに出発し、大阪には11時に無事、病気もケガもなく2,250kmの長旅で帰ってきました。

見て、感じた事は、ボランティアに対する行政の違い、高速料金の補助は、大阪市はなく大阪府のみ。しかも片道だけ（和歌山は往復証明発行）陸前高田は、全て津波に

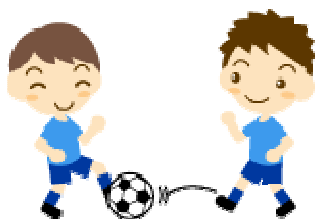
流され、かろうじて残った鉄筋コンクリートの市役所、病院、学校等も中は何もなく、ガレキが一杯…。完全に街が消えていた。大船渡も同じで、塩水の通った跡がクッキリ。根の浅い木は枯れ果てていた。海もガレキの片付け中で残った船の修理にやっと手が付き始めた所。海の養殖は、3年～5年かかるとの話です

人々の生活は、高台（山奥で、車で20～30分かかる）にある仮設住宅で買い物する足もなく、店もなく（一部スーパーが営業開始でも高い）、お金もなく、部屋も狭く、生活物資を置くスペースもなく、ギリギリ最低の仮の避難生活です。

しかし元の生活に戻る見通しも全く立たず、1日でも早い街の復興が望まれますが、国や自治体の救援が実情に追いついていないのが実態です。引き続きの支援が必要ですと感じた支援活動でした。

参加メンバー→





全国シニアサッカー大会

40歳代は、セレソン（大阪）が優勝！

50歳代は、兵庫マスタース（兵庫）が優勝！



10月29日（土）・30日（日）の両日、大阪堺市ナショナルトレーニングセンターにおいて、第15回全国シニア大会が開催されました。

第1日目の開会式では、渡邊 紀雄氏（大阪府連盟理事長）、川野 弘之氏（事務局長）がそれぞれ激励の挨拶を行い、出場チームに対して、東北の仲間を元気づけるサッカーをと呼びかけました。

試合は、3つのグラウンドに分かれて、10時30分キックオフでスタートし、SOSクラブ（大阪）対帝陵シニア（大阪）のゲームでは、植山 良和大会会長（兼）SOSクラブ選手のキックオフでゲームが開始されました。

今回は、東京、千葉、神奈川、兵庫、和歌山、大阪の各都府県から18チームの出場で熱戦が展開されました。

50歳代クラスは、兵庫マスターズ、帝陵シニア、東京シニア、神奈川アクティブの4チームが決勝トーナメントに進出し、40歳代クラスは、大阪セレソン、神奈川イズミノモリ、大阪FLAT、千葉パラダイスの4チームで



決勝トーナメントとなりました。

第2日目は、曇り空の雨も降りだすコンディションとなりましたが、40歳代は、大阪セレソンFC、50歳代は、兵庫マスターズFCが苦戦健闘のうえ、初優勝を飾りました。



秋の種目交流会 8種目20人で盛会に交流する！

11月11日（金）午後6時45分から「府連盟、秋の種目交流会」を府連盟事務所に開催しました。

バレー、野球、サッカー、ウォーキング、卓球、バドミントン、スキー、テニスの各種目から20人が参加して交流を深めました。

渡邊 紀雄理事長の音頭で乾杯し、美味しいおでん、ギョーザ、唐揚げ、加藤さんからの差し入れの湯豆腐、小東さん差し入れの巻き寿司、三木さんからの差し入れのビールなど、美味しくいただきました。

スキーの参加者からは、「会議かと思って来た」という感想が寄せられ「春の花見交流会」が中止になったので、秋にしたことが事務局より説明されました。

食べて飲んで、お腹の空きもおさまったところで各参加者の自己紹介があり、サッカーから参加のお菓子屋さんのチームは「転勤が多くあり、メンバーをそろえるのに大変です」、また女子サッカーの話題では「女子選手も胸で受けるのか」「オッパイが痛くないのか」と質問が出されていました。

また、スキーの参加者からは「各種目にいろんな話が聞けて良かった」と感想がありました。

バレーの渡辺さんからは、全国大会の準備や、又野球が来年大阪開催を引き受けたことなどを話され、川野さんからは「大阪スポーツ祭典を毎年開催し、今年48年目を迎え、大阪府、大阪市の後援を受けていること、これは毎年の積み重ねの実績がそうさせている」ことなどが話されました。

また、溝口さんからは、施設を年間調整で取れているのも、毎年の実績と国や自治体への要求運動の大切さが話されました。

会は、午後9時になり閉会しました。



マラソンシーズンを迎えて

11月6日(日)

20km

・10km

ロードレース大会開催!



長居公園長距離走路に於いて、第38回大阪20km・10kmロードレース大会が開催されました。10km 78人、20km 92人、計170人が午前10時号砲とともに飛び出して行きました。

北は北海道から、南は鳥取県からの出場でした。最高齢者73歳の葭田 敏博さん(大阪和泉市)もスポーツ連盟の各マラソン大会の常連として、今回も元気に完走されていました。



析しも前日の雨で大会当日も大変心配されていましたが、雲空で何とかレース中は大丈夫でした。

10kmのゴール間近で2人のランナーの激走があり、同時タイムのゴールとなりましたが、審判の判定で前田 隼矢選手が(33分59秒)優勝を飾り、この大会2連覇を成し遂げました。

また一般女子の部では、奥宮 有美選手が(52分03秒)優勝し、6位までの表彰とメダルの授与に6人とも大喜びをしていました。

主催者から「1時間切ったので、来年の大阪マラソンは大丈夫ですよ」と声がかかると「12月にホノルルマラソンに行きます」と返事が返っていました。

レースは、そのあと20kmのトップがゴールし、壮年男子の古田 應利選手が(1時間12分23秒)テープを切りました。古田選手は、スポ連大会の常連選手で、この日もお母さんと奥さんの応援を受けていました。お母さんからは「古田は、新体連で成長させてもらったと」喜んでいました。

男子、女子の成績は次の通りです。尚、女子壮年20kmの成績で一部表彰の手違いがあったこととお詫び申し上げます。

出場選手記録一覧表

種目名	順位	氏名	時	分	秒	種目名	順位	氏名	時	分	秒
10km 一般男子	1	前田 隼矢	33	59		20km 一般男子	1	森 良太	1	13	06
	2	東田 薫	33	59			2	藤野 隆文	1	17	52
	3	脇家 崇夫	35	01			3	新 光輝	1	22	02
	4	伊藤 玲	38	06			4	福本 博和	1	22	27
	5	松原 耕平	38	26			5	益山 高広	1	23	31
	6	金子 夏樹	39	00			6	安田 英治	1	23	51
10km 壮年男子	1	上田 良人	37	52		20km 壮年男子	1	古田 應利	1	12	23
	2	内田 武史	40	12			2	山田 和信	1	15	50
	3	仲里 隆	40	20			3	豊田 年雄	1	16	31
	4	三木 長幸	40	58			4	三原 茂生	1	18	10
	5	筈 良太	41	03			5	高野 英二	1	19	00
	6	古本 隆	45	20			6	野口 功	1	20	11
10km 一般女子	1	奥宮 有美	52	03		20km 一般女子	1	奥野 美弥子	1	48	48
	2	辻 歩美	52	29			1	若林 智代美	1	21	11
	3	尾崎 由季	53	43			2	池内 希予子	1	29	09
	4	川村 志麻	55	34			3	林 智子	1	30	00
	5	山口 裕美	55	37			4	越野 智子	1	33	41
	6	森田 成美	56	02			5	長野 真由子	1	38	00
10km 壮年女子	1	大谷 理恵子	43	23		20km 壮年女子	6	野々村 泉	1	44	21
	2	楠山 綾子	51	41							
	3	山本 じゅんこ	52	45							
	4	宮本 真希	53	14							
	5	岡 緑	54	47							
	6	平山 信子	55	54							

竜王山・摂津峡ウォーク

10月16日(日) 15名参加



9時JR茨木駅集合しそこからバスで1時間弱「忍頂寺」で下降。バス停でストレッチ、他にも2組のメンバーがいました。同じコースなのかどうか分かりませんが、我々は、まずは竜王山展望台に向かってスタートです。今日のコースは、東海道自然歩道が通り苦労せずに登れる手軽な山「竜王山」と人気の「摂津峡」を組み合わせた12kmのウォーキングです。絶好のウォーキング日和に恵まれた10月16日、でも最初は登りです。1時間ばかり上り詰めると展望台少し早めの昼食をとりました。展望台からはただひたすら下りです。車作大橋をえて萩谷林道を超える途中見事な「アケビ」を見つけ食しました。美味でした。高槻の萩谷総合公園を過ぎ「摂津峡」に入りました。ここからが結構ありました。摂津峡の源流から下って行くのですから距離としてはずいぶんあります。摂津峡の公園を過ぎバス停まで歩くと12kmは越えた歩行距離を歩数計が示していました。高槻の駅に着いた時は少々バテ気味、これに輪をかけ帰りの電車が超満員。本当に疲れました。お疲れ様でした。

第84回ウォーキングは、大阪市が作成した24区緑のウォーキングマップの第1回目「住之江区」です。

本来なら12kmのコースですが8キロぐらいにしたつもりです？

当日は、怪しい空模様で、心配です。「住吉公園」でストレッチをし始めるとポツリ、ポツリと雨が降りはじめました。それでも大した雨でもなく思い思いのいでたちで歩きはじめました。住吉公園を出た所に高燈台がありましたが、開いている曜日が第4日曜だけで中に入って見れませんでした。次に案立商店街の手前の霰松原公園に立ち寄り、十三間川緑道の川べりをゆったりと歩きました。その後加賀屋緑地（新田会所跡）に立ち寄り集合写真。新北島東公園で昼食その後住之江通りを東に進み護国神社に参拝（さざれ石を見学）後住之江公園をとおりもとの住吉公園に2時に到着、途中雨が降り傘をさしてのウォーキングでした。お疲れ様でした。この後有志だけで住吉大社にお参りしました。結婚式を第1本宮で行っていました。

第1回大阪市緑のウォーキング「住之江区」を歩く

11月5日(土) 13名参加

十三間川
緑道



加賀屋新田会所

都市マラソンはお祭だ！

大阪快走クラブ 加山 勝久

大阪マラソンも終わり、あんなに沢山の人たちが走り回っていた大阪城公園噴水付近も今は人もまばらになり、私たちはゆったりといつものクラブの練習に没頭できるようになりました。東京マラソンの二番煎じ、橋下知事の人気取り等々言われていましたが、やはり大阪市の中心部を走るという魅力には勝てず私も申し込みました。マラソンと8.8kmレースには定員三万人に対して5.5倍の17万人も応募があり、私も含めてクラブの大部分の人は落選、わずか3人だけが当選したので今回は沿道でその3人の応援にまわる事にしました。



地下鉄岸里駅辺りが30km地点、ランナーも25-30kmくらいになると疲れてスピードも落ち、散けてくるから探しやすいと思い、スタートから2時間後の11時から最前列に陣取りカメラを構えて3人が来るのを待っていました。すぐ横にはクラブの谷本さん夫妻とそのお孫さんが「谷本はここです」という大きい看板、「瀧端さんがんばれ」「尾田さんがんばれ」の小さい看板を掲げて応援しています。しかし一瞬目をはなした隙にお目当の瀧端さんが通り過ぎたようでしたし他のメンバーにも全く気がつきませんでした。

私たちの周りには近所に住んでいる人たちが「がんばれ！がんばれ！」といい続けて団扇を振りながら応援しています。ずらーっと手を出してランナー達とのハイタッチをキャーキャー言いながら楽しんでいる人たちもいます。谷本さんの孫も仮装したランナーが来る度に「アンパンマンだ、がんばれー」「ミッキーマウスだ、がんばれー」叫んでいます。次々と走りすぎてゆくランナーたちもそれらに反応してニコニコ笑いながら手を振ってゆき、ハイタッチにも応じてゆきました。

30km地点を12時半過ぎに通過するランナーは既に3時間半を走っており、ゴールインは14時過ぎと思われますからかなり疲れているはずです。それでもかれらは沿道からの声援にこたえてとても楽しそうに走っていました。ランナーと応援する人たちの交流する情景はNAHAマラソンでよく見かけたことを思い出しました。那覇では100万県民のうち30万人が沿道42kmを埋め尽くして、軒並みに私設エイドステーションを開き、鐘と太鼓と口笛、カチャーシーで走ってくる家族のランナー、会社の同僚、労働組合の仲間、地域の仲間、学校の先生や生徒を励ましています。



谷本さん、今度はチョコレートとバナナを持って私設エイドステーションに早変わりして「チョコレート如何ですか！バナナもありますよー」と呼びかけています。外人が来ると「This is banana!」と呼びかけています。都市マラソンは先頭集団2000人を除けば、あとは舞台上演技する俳優と観客、おみこしを担ぐ人と観客のように皆が一体になって楽しむお祭ですね。経済波及効果が百何億円とか何とかさんの選挙アピールとか、そんな小さい事を言わずに楽しみましょう。走るあなたが主人公ですから。